

# ほほえみ通信

4月

発行：医療法人社団 紀洋会  
小規模多機能型居宅介護  
和楽の郷  
住所：丹波篠山市本郷 108-2  
電話：079-592-0822

少しずつ暖かい日が増え、春になるのを感じます。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。和楽の郷では先日の行事で初めて紙芝居を上映しました。ただ読んで紙を捲るのではなく、職員は感情を込めて利用者の皆さんが話に入り込めるように演じました。

ご利用者の方からは「今日の行事は、ほんまに面白かった！紙芝居なんて久しぶりに見たわ」「愛染かつらも金色夜叉も懐かしいな」と喜ばれたり懐かしく思われたりと絶賛でした。

愛染かつら  
懐かしいな



花も嵐も踏み越えて  
行くが男の生きる道



## 学びを支援に活かす研修

和楽の郷では月に一回の業務ミーティングの際に色々なテーマで研修をしています。この研修を通じて知識を増やし、ご利用者の方々の暮らしをよりよくする支援に活かせるよう勉強をしています。

今回の研修では関節の動かし方をテーマに外部研修で学んだ職員が講師となり、拘縮のある方、関節が柔らかい人の移乗や起き上がり介助の仕方を学びました。関節の仕組みを知り、どのように動かすのが良いか職員がモデルになり、動かされる時の事や動かし方などを体験しました。

また、もしも自分の余命が半年と言われた時に何を望むかという「もしばな(話)ゲーム」をしました。「最期まで家族と過ごしたい」など色々な内容が書かれたカードがあり自分が重視する内容を手元に残していき最後にその理由を発表しました。一番、話しにくい事ですが、人による考え方の違いや後悔をしないためにも日頃から自分の終活などについて自然と会話ができる大切さを勉強しました。

### ↓関節ってどう動く？



### ↓残された時間どう生きる？



新型コロナウイルスが日本でも流行っています。外から戻られた時には「手洗い、うがい」を必ずして、良く食べ、良く寝て免疫を高めて予防をしましょう。体調に気を付けて、お過ごし下さい！